

あやめ池学園南

9 条の会

発行者 太田祐嗣 疋田町5-500-39

6月25日 結成のつどい 80名の参加で、大成功

6月25日、午後1時30分から奈良市西部公民館で「あやめ池・学園南九条の会結成のつどい」を開催、80名が参加。「九条の会アピール」の賛同を、地域の様々な団体・個人に広げようと決意を固めあいました。

今年1月から「古都奈良の世界遺産を守り、子孫孫に伝えるためにも九条を守ろう」と準備。「九条の会を網の目」に込め、小学校区単位として5000余世帯の組織として短期間の間に、9度にわたる準備会世話人会議、準備会ニュースを6号まで発行、独自のホームページを開設するなどの準備を行う中で、80名の賛同者を得、結成に至りました。

つどいに先立ち、同「会」世話人を代表して吉川好胤（よしかわよし）たね 元奈良教育大学付属中学校副校長）氏があいさつ。

つづいて、「私の戦争体験『ルソン島戦を語る』」と題して足立武男



あやめ池遊園地が戦争中は「近代兵器科学館」に 吉川好胤さんの開会あいさつで

皆様、「あたらしい憲法のはなし」(S22・8・2文部省発行)をご覧ください。私はこれを、中学3年生で学びました。子ども心になんとも「心強いもの」を感じたのを覚えています。その時の教科書がこれです。55年間もついていたわけです。私の宝物のひとつです。この教科書で心に残った「戦争の放棄」の一部分を読んでみます。「日本の国が、決して二度と・戦争の放棄・これを

戦争の放棄というので今一つの資料は「あやめ池遊園地」関係のものです。「あやめ池遊園地」といいますと平和なイメージがします。しかしこれも戦争に動員されました。1940年アジア太平洋戦争前夜「航空大展望会」をやっています。そこには爆撃機・戦闘機が展示され、あやめ橋が軍艦に改装されました。150万人を集めたという事です。戦争が始ま

ると、遊園地は「科学広苑」と改名し、その中心施設が「近代兵器科学館」になりました。蛙股池も戦時中は予科練のカッターの練習場でした。「戦争」は地域の特性に目をつけて、着実に準備をし利用していきま

私たちの「九条の会」は、あやめ池学園南を中心に「九条を守る強固な砦」を築くために創意工夫をこらして草の根の活動をしようではありませんか。

2006年6月25日
世話人
吉川 好胤

氏（あだちたけお Ⅱ 学園南在住）が講演。「900人の部隊がたった2時間ですのほとんどが米軍に殺されてしまった。最後まで、生き残ったのは、私を含めたたった二人。戦争は殺し合い。何の恨みもない者どおしの殺し合いだ。二度と起こしてはならない」と結びました。記念講演では、「憲法

の心、日本国憲法第九条の歴史的意義」と題して、今正秀氏（こんまさひで Ⅱ 奈良教育大学助教授）が「奈良県内では、これで39の会が結成され、15の準備会と着実に広がっている」ことを紹介しながら、「憲法を守らなければならぬのは、国家権力であり、私たち主権者が憲法を守る立場

にある。9条を変えて戦争をする権利を国に与えてはならない」と講演。参加者から大きな拍手があげられました。つどいに参加した佐竹節子さん（あやめ池南在



住Ⅱ78歳）は「17歳のときに終戦を迎えた。青春の真っ只中を戦争という苦い経験で過ごしましたが、これからの若者にそんな経験をさせたくないと思い参加しました」と語っていました。

裏面に、アピール、呼びかけ人を掲載